

学習評価の進め方ワークシート（国語）

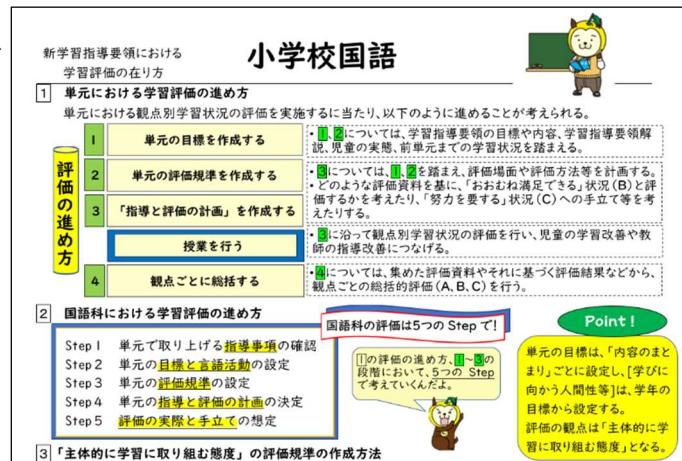
【「学習評価の進め方ワークシート」の使い方】

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点が3観点に整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように児童を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料等を基に、以下のワークシートの手順に従い、一単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>) 国立教育政策研究所



()年 単元名 ()

1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領解説を基に、単元の目標を作成しましょう。



Step1: 指導事項を確認する。(学習指導要領から該当する単元の記載内容を抜き出しましょう。)

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等

単元で取り上げる言語活動

具体的な言語活動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度
は、評価規準作成のポイント4点
を組み合わせて作成しましょう！



3 「指導と評価の計画」を作成する

評価規準の内容を最も評価できる場面で、適切な評価方法を考えましょう。また、枠が足りないときは、同様の形式を作成して、なるべく詳しい計画を立ててみましょう。



<指導と評価の計画> Step4: 各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に計画を作成しましょう。

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等

授業を行う

Step5



児童への学習状況のフィードバックや授業改善に生かす機能を一層充実させることが大切です。

4

観点ごとに総括する

評価の観点ごとの総括及び評定への総括の考え方や方法について、教師間で共通理解を図り、児童や保護者に説明し理解を得ましょう。



(例1) 評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合

A	B	C
3点	2点	1点

総括の結果をBとする範囲を[2.5≥平均値≥1.5]とする。

学習活動	1	2	3	4	5	6	総括	単元の評価
知識・技能								
思考・判断・表現								
主体的に学習に取り組む態度								

(例2) 評価の結果のA、B、Cの数を基に総括する場合

「A、B」のように数が同数の場合や「A、B、C」のように混在する場合は、あらかじめ総括の仕方を決めておくことが必要です。

学習活動	1	2	3	4	5	6	単元の評価
知識・技能							
思考・判断・表現							
主体的に学習に取り組む態度							